

第71次印旛地区教育研究集会
第五部会安全教育研究部提案資料

児童生徒の安全に対する意識を
高めるための取り組み

～地域の方々との合同パトロールを通して～

四街道市立南小学校	高柳 浩一
四街道市立八木原小学校	近江谷雅樹
四街道市立千代田中学校	辻口 隆史

1 研究主題

児童生徒の安全に対する意識を高めるための取り組み

2 主題設定の理由

四街道市は面積34.52平方キロメートル、人口約9万5千人と面積は小さいものの、都心へのアクセスが良いため年々人口が増加している。JR線は四街道駅と物井駅がある。平成22年～27年の人口増加率は県内で4番目となっている。小中学校は、中学校5校・小学校12校となっている。また、面積的には小さい市であるが、私学の高等学校2校、県立の高等学校2校、県立の盲学校、特別支援学校がある。特に私学の生徒は、市川・市原・旭・茨城など多方面から通学している。



千葉敬愛高等学校

四街道駅から徒歩圏内に、4つの高等学校があることと、駅近くに大型商業施設もあるため、平日・休日を問わず駅周辺は、通勤・通学・買い物をする人で多くの人流がある。そのため、トラブルに巻き込まれる可能性もあり、常に見守っていく必要がある。物井駅周辺は、近年宅地造成が進み、県内外から多くの人が入居してきている。特に、もねの里地域は、宅地造成が急ピッチで進められており、一週間経つと景色が変わってしまうほど、日々変化している地域となっている。もねの里の大半が学区となっている南小学校は、創立150年をまもなく迎える古い学校で、以前は単学級で村の学校というイメージがあったが、児童数の増加により教室が足りず、PC室・図工室・会議室などを教室に改造して対応しなければならない状況に追い込まれているほど変化が著しい学校となっている。人流ということに目を向けると、今年度入学した1年生は、100人程度であったにも関わらず、24の幼稚園・保育園から来ており、新しい人たちの町に変化していることがよくわかる。



四街道駅近くの大型商業施設



JR 物井駅

JR 四街道駅



日々変化していく、もねの里の町並み

このように、新しい人が増えているため、地域での横のつながりは希薄になってきている。子ども達の安全を確保するために、地域の見守りはとても大切である。四街道市内の学校には、地域の方々から安全に対する要望が多く寄せられる。内容は地域で解決できることがほとんどであるが、多くは匿名で、「注意すると近所の関係が悪くなるから。」「大人が近くにいるのに何も言わない。」など、地域全体で見守っていこうという意識にかなりの温度差が出てきている。そこで、青少年育成センターが中心となって行っている合同パトロールの取り組みをもっと地域に発信し、地域の方々の理解や協力を高めていくことで、地域で見守っていこうという意識が高まっていくだろう。さらには、身近な人が行っている活動を知ること、児童生徒の安全に対する意識も高まると考え本主題を設定した。

3 研究仮説

学校便りや学年便りで、合同パトロールの活動を発信していけば、地域の方々の理解が深まり、児童生徒の安全に対する意識が高まっていくだろう。

4 実践内容

① 育成センターの活動

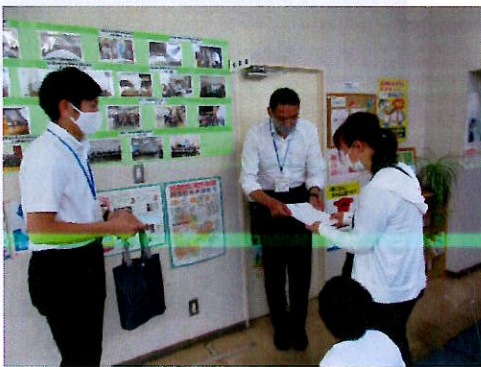


遠くへのパトロールは青パトで行きます

- ・千葉県青少年健全育成条例に基づき県内19の市に少年センターが設置されている。
- 四街道市青少年育成センターでの主な活動
- 相談活動：いじめ、非行、親子関係、不登校等
- 居場所作り：学習、読書、卓球 センター内2Fのオープンスペースを開放
- 環境浄化：有害ビラ撤去、美化活動
- 広報啓発：不審者情報よめーる配信 センター紙「一期一会」
- 補導活動：「愛の一声活動」青少年に思いやりの声かけ

補導活動

市長または教育長から青少年補導員として委嘱を受け、青少年の非行防止に努め、健全育成をはかることを目的としている。



市内小・中・高からも1名が委嘱を受け、青少年補導員として活動している。

活動内容

- 街頭補導：非行や不良行為の行われやすい場所に出て、ぐ犯、不良行為少年を早期に発見し適切な注意助言を与え、正しく導く活動。

主に学校職員は、この補導活動に参加している。

②各中学校区の活動

5つの学校区毎に地区パトロールを行っている。

○主なパトロール場所

四街道中学校区：和良比、めいわ、美しが丘地区 メガドンキホーテ わろうべの里
四街道駅周辺

千代田中学校区：もねの里、物井地区 千代田近隣公園 さとくらし公園 物井駅周
辺 池花公園 敬愛グラウンド

旭中学校区：みそら団地、旭が丘、鷹の台地区 物井駅踏み切り脇周辺 情報大学周
辺 吉岡交差点 総合運動公園

四街道西中学校区：大日、下志津新田地区 四街道駅周辺 四街道公民館周辺
イトーヨーカ堂周辺

四街道北中学校区：大日、富士見ヶ丘、栗山、さちが丘、萱橋台地区 市役所周
辺 イトーヨーカ堂周辺

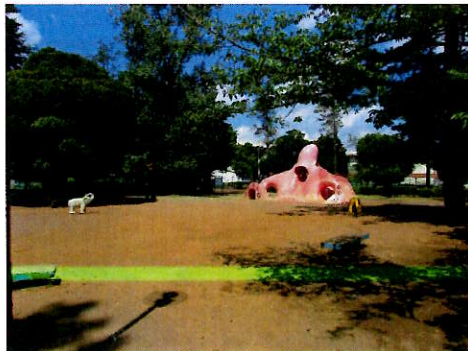
◎小さな市ですが、大きな公園がいくつもあります。



美しが丘公園



総合公園



中央公園



さとくらし公園

各中学校区に所属している補導員が中心となって毎月1～2回実施している。パトロールの仕方は各中学校区毎に話し合っているが、いくつかのコースを決めてパトロールしたり、学校からの情報を基に危険箇所をパトロールしたりしている。

5 実践の実際

① 育成センターの街頭補導活動（パトロール）

○年間160回程度実施している。（月14回程度実施）

曜日によって補導時間を変えて実施している。

☆A補導 7：45～

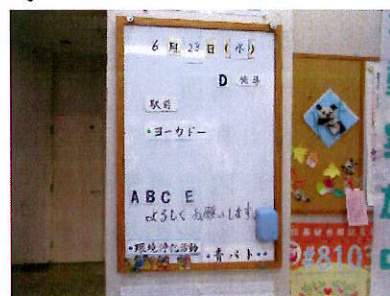
☆B補導 10：00～

☆C補導 14：30～

☆D補導 16：30～

☆E補導 18：30～

※各補導とも1時間程度の実施



街頭補導予定表

○パトロールの手順

・育成センターに集合

※早く来た補導員は、補導中児童生徒に手渡す、相談カード（絆創膏のプレゼント入り）の袋詰めをする。

・担当者と今日の補導コースを確認

- ・パトロール開始
 - ※商業施設に入る際は、警備員室や担当者と最近の状況等を確認してから施設に入る。
 - ※補導員が2人1組に分かれ、多くの児童生徒に声をかけていく。
- ・育成センターに帰着
- ・今日の様子等、気づいたことや児童生徒の変化を報告し、反省会をする。
 - ※声かけした人数（世代別）を報告し記録する。



人の流れを見てコースの再確認



パトロール後の報告会



駅前でも人目につかない場所があります



児童生徒に手渡すカード

②各中学校区の活動（地区パトロール）

○地区パトロール

※月1回、実施している。集合場所は月ごとに各校を回っている。

○5学区合同パトロール

※年3回程度、主催中学校区を決め、主催中学校区の学区をパトロールする。他学区からは3名程度参加する。

○各中学校区ごとに、PTAと補導員の意見交換会の実施。

○小学校の夏休み前終業式における、補導員の紹介と活動についての講話実施。

※コロナ禍においても補導員の活動については放送にて実施。

○パトロールの手順

- ・当番校に集合する。
- ・パトロールするコースの確認
 - ※この1か月で各校に寄せられた情報も確認する。
- ・パトロール開始

- ・当番校に帰着
 - ・気づいたことなどを報告し、反省会を行う。
- ◎夏季下校時刻の期間は、中学校の部活動終了時間が遅くなるため、16:30～のチーム（小学生・部活動に参加していない中学生を中心にパトロールする。）と18:30～のチーム（部活動参加の生徒を中心にパトロールする。）の2チームに分かれて見守っている。



学校やPTAからの情報を確認



自分の目で確認しよう

6 成果と課題

○成果

- ・一日を通して、いろいろな時間帯でパトロールしているので、様々な事情の児童生徒に対応できるようになった。
- ・中学校区だけでなく、さまざまな地域の方々とパトロールをすることで、市内全域の情報を共有することができた。
- ・問題行動や事故が起きた際、小さい町の利点を生かし、学校区を問わずすぐに集合し、動くことができた。

●課題

- ・勤務時間外のパトロールが多いため、一部の職員で対応しなければならない。
- ・広報誌だけの配付では、地域への周知が徹底できないため、今後どのようにして広めていくか検討する必要がある。